2012年10月24日

危機管理勉強会齋藤塾からのお知らせ

http://sjuku.web.fc2.com/

お世話になっております。塾長の齋藤です。

1　次回の勉強会（11月15日）のご案内です

次回の勉強会は、「企業のリスク対策（3）　― 流通業編 ―」で、
ゲストに（株）ローソン　コンプライアンス・リスク部長をお招きします。

国内だけで１万店舗を超えるコンビニエンスストア「ローソン」ですが、
その90%がフランチャイズ契約で運営されています。

そのフランチャイジーを含め、同社は過去の大震災の教訓を活かし、
社会的責任として地域社会に貢献できるよう、事業継続計画に取り組んでいます。
（1）本人、従業員、お客様の安全確保、
（2）経済活動の維持、
（3）地域社会への貢献を　防災の基本柱とし、
店舗における災害発生時の援助、組織としての物資供給継続ほか、
災害時のための準備を着々と進めています。

今回は、この巨大組織の事業継続計画をまとめる吉田氏にご登壇いただき、
これまでの大震災の教訓や今後の取り組みなどについて、解説していただきます。

なお、当日の説明はパワーポイントでお願いしていますが、
公表困難な資料もあることから、配布資料は講演骨子のみとさせていただきます。

この機会に、奮ってご参加くださるよう、ご案内します。

【第29回勉強会のご案内】（現在、受付中です）

○ 日　時：　11月15日（木）18：30～20：20（受付開始　18：10）
○ 会　場：　工学院大学　5階 A-0542 教室
○ テーマ：　「企業のリスク対策（3）　流通業編」
○ ゲスト：　吉田　浩一氏（株）ローソン　コンプライアンス・リスク部長
○ 資料代：　2,000円（当日受付にてお支払い下さい、領収書をお渡しします。）
○ 懇親会：　終了後、懇親会を7階食堂で開催（参加任意・会費3,000円）
○ 申　込：　11月12日（月）までに塾長の齋藤へ
　　<sjuku1@gmail.com>　（@の前は数字の１）
　　またはホームページのセミナー申込みから
○ その他：　リスクマネジメント協会関係者は同協会へお申込みください。

2　気象庁主催　津波防災講演会「過去を知って未来に備える」のご案内

　本講演会は、テーマを『過去を知って未来に備える』として、
古文書を読み解き災害現場を歩く歴史地震学の第一人者や気象キャスターが、
過去の津波災害をひも解き、今私たちが自らの命を守るために
知っておくべきことについてわかりやすくお話します。

また、東日本大震災以降、気象庁が取り組んでいる津波情報の改善について
もわかりやすくお話しします。

○　日　時：　平成24年11月10日（土）13:00～15:30　（受付開始　12:30）
○　場　所：　一橋大学 一橋講堂（千代田区一ツ橋2-1-2　学術総合センター内）
○　入場料：　無料
○　定　員：　500名（事前申込制、先着順。WEBよりお申し込み頂けます）
○　内　容：　講演１　防災講談「お助け庄屋流離譚」
　　木原 実氏（気象キャスター・防災士）
　　講演２　「千年一度の巨大地震の例
　　－1498年明応東海地震と1707年宝永南海地震－」
　　都司 嘉宣氏（建築研究所 特別客員研究員）
　　講演３　「津波から逃げる－津波警報を活用して頂くために－」
　　永井 章氏（気象庁 地震火山部地震津波監視課長）
○　詳細・申込み
　　http://www.jma.go.jp/jma//kishou/info/kouenkai/2012/kouenkai1110_oubo.html

3　「宮城県女川町の復興状況の報告」のご案内です

市民防災まちづくり塾から勉強会のご案内です。

前江戸川区土木部長　土屋信行氏は、宮城県女川町の復興計画策定委員として

女川町の復興支援に取組まれています。
現地の被災状況や復興までの歩みなど、最新のお話しを伺います。

なお、本報告はシリーズで行うこととしており、
次回は、12月4日（火）19:00から開催します。

○ 日　　時： 11月12日（月）　19:00～20:30
○ 会　　場： 江東区東大島文化センター ３階 第４研修室
（江東区大島8－33－9　　電話03-3681-6331）
○ 参 加 費： 無料
○ 講　　師： 前江戸川区土木部長　土屋 信行氏
○ 募集人数： 40名（先着順）
○ 申 込 み： 市民防災まちづくり塾へ（携帯 080-4006-8819）
eizoutosikeikaku@hotmail.co.jp

4	り・らいふ研究会からシンポジウムのお知らせです

ＮＰＯ法人り・らいふ研究会から、シンポジウム開催のご案内です。

墨田区京島地区のまちづくりは、東京の密集市街地整備の端緒で、
３０年を超える軌跡を持っています。
同地区のまちづくり協議会活動や持続的な生活道路の整備等は、
後発の自治体や住民団体に少なからぬ影響を与えてきました。

同地区においては、平成15年に創設された防災街区整備事業にいち早く取組み、
現在、ＵＲ都市機構により「防災施設建設物」の整備工事が進捗しています。

今回のシンポジウムでは、密集市街地の歴史を振り返るとともに、
防災街区整備事業の実態を学び、
そこから、密集市街地のまちづくりについての展望を語り合います。

○ 日　　時： 11月17日（土）　13:30～17:00
○ 集　　合： 京島第二集会所（キラキラ会館）
（墨田区京島3－52－8）
○ テ ー マ：「密集市街地のまちづくりの歴史と課題」
～墨田区京島地区をめぐって～
○ 資 料 代： 1,000円
○ 募集人数： 60名（先着順）
○ 申 込 み： り・らいふ研究会事務局
relife@relife.or.jp

5	塾長のつぶやき(2012.10.24)　女性のための「家庭版ＢＣＰ」を作成

9月から10月にかけて、浦安市の公民館主催で行った防災講座(4回シリーズ）で、
「女性のための家庭版ＢＣＰを策定する」の講師を、担当させていただきました。

受講者は市内の主婦で、平均約20名が参加した講座でしたが、
「グループ討議で、自ら考え、共に学ぶ」内容とし、
各回のテーマを次のとおりとしました。

第1回目　　大震災に備える　事前対策って何？
第2回目　　震災後の行動を、時系列に考えよう
第3回目　　家庭版ＢＣＰをつくろう
第4回目　　ＢＣＰ作成がスタート

家庭版ＢＣＰとは、聞きなれない言葉ですが、
自らと、自らの家庭を守るための事前計画のこととし、
その策定のポイントを、（1）　自分が「死なない」　（2）　家族を「殺さない」
（3）　家庭を「破壊させない」こととして、検討することとしました。

主婦らしい優れた対策がだされましたので、その一部を紹介します。
○子供に対して平常心を保ち、接する努力
○「助けられる側」から、「助ける側」に
○非常持ち出し用品に、子どものお気に入り（菓子、おもちゃ、絵本など）を
○冷凍品、冷蔵品を買いだめない

改めて多くことを学ばせていただいた、充実の４日間でした。

★齋藤塾では、危機管理や防災に関する講演会等のご案内を行っています。

危機管理勉強会（斎藤塾）　塾長　齋藤 實
〒144-0056 東京都大田区西六郷1-12-22-412
tel&fax 03-3739-8244　携帯　090-2650-6935
E-Mail　sjuku1@gmail.com

※関係者への転送・大歓迎です。
■登録・解除は、ご自身でお願いします。こちらからできます。

https://i-magazine.jp/bm/p/f/tf.php?id=sjuku

Copyright (c) 2012 齋藤塾 All Rights Reserved.